

2019 PC Conference

挑む ぶつかる 乗り越える

開催日時:2019年8月6日(火)7日(水)8日(木)

開催場所:甲南大学岡本キャンパス(〒658-0072 兵庫県神戸市東灘区岡本8丁目9-1)

公式サイト:<http://gakkai.univcoop.or.jp/pcc/2019/>

主催:一般社団法人CIEC(コンピュータ利用教育学会) / 全国大学生生活協同組合連合会

後援:甲南大学,文部科学省,経済産業省近畿経済産業局,兵庫県教育委員会,神戸市教育委員会,神戸新聞社, NHK 神戸放送局

参加費:一般:5,000円/学生・院生:1,500円※税込

※web参加受付締切:7月22日(月)締め切り以降は当日参加扱い同様1000円増とする。

※レセプション5,000円,イブニングセッション500円は別途

■PCカンファレンスの特徴

- 1.教職員がそれぞれの専門領域を越えて,コンピュータ教育,それを使った教育,研究について議論し経験を交流する場であること。
- 2.幅広く,初等教育から生涯教育までを視野に入れること。
- 3.大学院生・学生のレポートや運営への参加を大切にすること。
- 4.海外の先進事例にも視野を広げ,たえず新鮮な刺激を取り入れること。
- 5.教育と研究の実践に焦点を合わせ,ハードやOSの違いにこだわらないこと。
- 6.完成された報告だけでなく萌芽的な経験も含め,だれでも気楽に報告できる場であること。
- 7.企業から提供される,最新のコンピュータ教育に関する情報を共有すること。

	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
8月6日 (火)			プレカンファレンス 9:30~11:30 (会場:Agora)		全体会 基調講演 12:00-13:50 (会場:甲友会館 大ホール)		教育・ITフェアイン デキシング 14:00-15:30 (会場:甲友会館 大ホール)		シンポジウム1 15:45-17:30 (会場:甲友会館大ホール)	シンポジウム2 15:45-17:30 (会場:4Fスタジオ)		イブニングセッション 18:00-20:00 (会場:523~525 5号館4F教室)	
8月7日 (水)			分科会9:00-11:55 (会場:511~524)		CIEC総会 (12:30-13:45) (会場:132)		ポスター 14:00-15:00 (会場:甲友会館 ロビー)		分科会 15:30-17:25 (会場:511~524)			レセプション 18:00-19:45 (会場:Hirao Dining Hall)	
					教育・ITフェア 10:30-17:00(会場:Agora West + Union L)								
8月8日 (木)			分科会 9:00-11:25 (会場:511~524)		セミナー1 12:00-13:30 (会場:131)	セミナー2-(1) 12:00-13:30 (会場141)	セミナー2-(2) 13:45-15:15 (会場141)		セミナー3 12:00-13:30 (会場:133)	セミナー4 13:45-15:15 (会場:132)			

お問い合わせ先:PCカンファレンス実行委員会事務局

〒166-8532 東京都杉並区和田3-30-22 大学生協会館4階(CIEC事務局内)

■■ 8月6日(火) ■■

【プレカンファレンス】 時間 9:30-11:30 会場:iCommons Agora
「プログラミング教育必修化のグランドデザイン - 小学校から中高大へバトンをどう渡すか -」

小学校でのプログラミング教育の実践紹介および PETS の実機に触れながら、小中高校・大学と連続性のあるプログラミング教育をどのようにデザインしていくか、パネルディスカッション形式により会場と議論を深めていく。

パネリスト 渡辺 登 株式会社 for Our Kids
尾池佳子 八王子市立松枝小学校主幹教諭
森棟隆一 白百合学園中学高等学校教諭
コーディネータ 平田義隆 京都女子中学校・高等学校

【全体会・基調講演】 時間:12:00-13:50 会場:甲友会館大ホール
開会挨拶 篠田有史 実行委員長, 甲南大学
開催校挨拶 長坂悦敬 甲南大学長
主催者挨拶 若林靖永 京都大学, 一般社団法人 CIEC 会長理事)

・基調講演 1

「変動するスポーツ現場 - 自分自身の経験をもとに -」
伊東浩司 甲南大学スポーツ・健康科学教育センター教授

2000年シドニーオリンピックを最後に18年の現役生活を終えて、2001年から甲南大学で指導者という立場になり、今年で選手生活と同じ18年をむかえた。この36年の間に、スポーツに関する理論・コーチングも時代と共に大きく変化をしてきた。私自身の中央団体の役員・地方行政での経験を交えながら、36年間の成功・失敗を振り返り、現在の取り組みなどを紹介していきたいと考える。

【略歴】報徳学園高校、東海大学政治経済学部経済学科卒業後、富士通株式会社、早稲田大学大学院スポーツ科学研究科を経て現職。1992年、1996年、2000年オリンピック日本代表。

・基調講演 2

「スポーツデータサイエンス - スポーツにおけるデータ活用とその発展 -」
酒折文武 中央大学理工学部准教授

ICTやセンサー技術の発達により、スポーツの世界において、選手やボールを追跡したトラッキングデータなどこれまでにない複雑かつ大規模なデータが取得されるようになり、戦術判断やチーム編成、怪我予防など、様々な場面でその活用が進みつつある。この流れは今年のラグビーワールドカップ日本開催、来年の東京オリンピックなどのビッグイベントを控えてさらに加速している。本講演ではその一端を紹介する。

【略歴】中央大学理工学部数学科卒業、同大学院博士前期課程、後期課程修了後、民間企業、立教大学社会学部助手、中央大学理工学部専任講師、カリフォルニア大学アーバイン校客員研究員を経て現職。日本統計学会スポーツ統計分科会副主査。

【教育・ITフェアインデキシング】 時間 14:00-15:30 会場:甲友会館大ホール
8月7日の「教育・ITフェア」企画へ出展の各社にステージ上で1分間のアピールをしていただきます。各ブースで最新機器や実践事例が展示されていますので、会場を回る際の参考にしてください。

【シンポジウム 1】 時間 15:45-17:30 会場:甲友会館大ホール
「スポーツと教育とデータサイエンス」

現代では、スポーツの現場で様々なデータが収集され、その統計分析によりスポーツを科学的に捉えることがさかんに行われています。この現状を踏まえ、今後のスポーツの発展、教育へのつながりについて議論します。

パネリスト 田中真介 京都大学国際高等教育院准教授
伊東浩司 甲南大学スポーツ・健康科学教育研究センター教授
酒折文武 中央大学理工学部准教授
司会 若林靖永 京都大学経営管理大学院教授, CIEC 会長理事

【シンポジウム 2】 時間:15:45-17:30

会場:iCommons 4F スタジオ

「学生の質の高い学びを支援する教育の近未来」

学生の学び方の変革が問われている。ICT の活用のしかたを自ら考える、集いあってプロジェクトを起こすなど、学生が自発的に自らの学びを深めていけるようなラーニングコモンズ等の教育環境を提供している国内外の先進的な実践例を紹介し、これからの教育や学習支援の在り方について議論する。

パネリスト 遠藤仁美 Duke 大学 准教授
大鹿智基 早稲田大学商学部教授
千葉美保子 甲南大学共通教育センター講師
梅津春菜 甲南大学生生活協同組合
司会 橘 孝博 早稲田大学高等学院

【CIEC 団体会員発表セッション】 時間:15:45-17:30

会場:5 号館 1 階カフェパンセ

CIEC 団体会員による各団体の最新の製品・サービス等やそれらを用いた事例・成果についての発表セッションです。質疑応答や意見交換等も行います。

15:45-16:00	株式会社ナレロー	反転型基礎情報科目における コンピュータ適応型テスト(CAT)活用の検討
16:05-16:20	株式会社ワークアカデミー	「学び×出会い=成長」 ～新しい学び空間「UMEDAI」のご案内
16:25-16:40	日経 BP / 日経 BP マーケティング	IT リテラシー向上, 資格取得等に役立つデジタル教材サービス「日経パソコン Edu」のご紹介
16:45-17:00	iJapan 株式会社	Turnitin Feedback Studio の活用事例
17:05-17:20	日本マイクロソフト株式会社	Surface と Office 365 を組み合わせたこれからの学び

【イブニングセッション:ワークショップ型】 時間 18:00-20:00

(1)「フリーの数式処理ソフトによる数式の苦手な学生への活用法検討」

会場:5 号館 4 階 5401 教室

主催者:小川健(専修大学経済学部准教授)

数式の苦手な学生は多く、ソフトを活用して代替することや、ソフトを活用しての処理自体が求められる状態は少なくない。ところがプログラミングの能力が必要な場合もあれば、有料なソフトを必要とするような事例も少なくない。そうした事例の多くでは、現実的には数式の苦手な学生への配慮がなされた在り方とは必ずしもいえるわけではない。そこで、このイブニングセッションではフリーの数式処理ソフト等を、数式を苦手としている学生にも使える形で活用するための方法を検討・模索する形をとる。担当者は Windows 用フリーソフト Microsoft Mathematics をベースにしながらも、色々な比較も想定している。知識・スキル・経験: Windows PC の使用経験があると望ましい。直接 PC に入れられるような PC の持参があると望ましい。(Mac の場合は関連する情報提供を求めることがある。)

(2)「情報モラル・セキュリティをどう伝えるかー教材体験ワークショップ」
主催者：山田夕子(公認情報セキュリティ監査人補 社会医療法人愛仁会)
共催者：正しい講演を考えるグループ

会場：5号館4階5402教室

各地の学校、自治体等で、講師を招いた情報モラル・セキュリティに関するセミナーがしばしば開かれています。多くの講師が適切な内容を伝えていますが、中には、技術的に誤った内容で受講者を煽り、脅す講師も皆無ではありません。これでは、突拍子もない話に受講者は驚き怖がるものの、正しい理解から遠ざかってしまいます。「脅す」「煽る」「怖がらせる」ことで情報モラル・セキュリティを伝えることができるのでしょうか。本企画では、まず、説明に技術的な誤りの多い題材を紹介し、情報モラル・セキュリティ教育について、いくつかの教材を使いながら、1グループ3～5人で意見を交わしていただければと思います。なお、このセッションでは、参加者の勤務先も含めた背景等は不問。ゲームやテキスト等の持ち込みも可。映像教材もありますので、手元で見たい方はノート PC の持ち込みをお願いします。

(3)「はじめての micro:bit プログラミング」
主催者：笹倉理子(電気通信大学)
共催者：浅本紀子(お茶の水女子大学)

会場：5号館4階5403教室

micro:bit は、初心者や低年齢の学習者が簡単にプログラミングの学修に取り組めるようデザインされた英国生まれの教育用マイコンボードです。現在は世界各国で児童のためのプログラミング教育に利用されており、日本でも昨年の夏に正式に発売され、小中高の授業や、課外活動、プログラミング教室等で使われています。このセッションでは、私たちがこれまで子供や教員養成課程の学生に教えてきた経験を踏まえて、はじめて、micro:bit を触る方を対象として micro:bit を使った活動をワークショップ形式で紹介します。経験者や活動事例をお持ちの方の参加も歓迎いたします。

※ micro:bit は貸出しいたします。インターネット接続が可能なパソコンまたはスマートフォン等の機器をご持参ください。なお、スマートフォンの場合は、事前に micro:bit 公式アプリのダウンロードをお願いいたします。

(4)「クラウドサービスで展開する AGILE アクティブ・ラーニングモデルによる PBL の学習環境(アンビアンス)」

会場：5号館4階5404教室

主催者：山本敏幸(関西大学教育推進部教授)
共催者：エルビータ・ウィアシー(関西大学国際部講師)
千葉美保子(甲南大学共通教育センター講師/関西大学教育開発支援センター研究員)
渡邊正樹(関西大学教育開発支援センター研究員)

本企画はハンズオン・ヘッズオンで行うワークショップです。ソーシャル・コンストラクティビズムのパラダイムで、学習者が主体的に AGILE チームで学習活動を進めていき、学習進捗や学習成果を常時1枚のバーチャルポートフォリオページで可視化・共有し、24/7の学習環境と俯瞰的な学びの視点で学習モチベーションを維持する工夫について取り上げます。このような学習環境でのアンビアンスをどう担保するかについて考えるワークショップです。さらに、ICT(Information Literacy)とアクティブ・ラーニングで展開する Academic Integrity についても検討します。このワークショップで提案する学習環境は、既に関西大学の共通教養科目やプロジェクト型学習の科目群で導入され、海外の大学との協働学習の形態(海外の学生と本学の学生がチームを組み、ディスカッションを通して定義した課題に取り組み、学びを深めるカリキュラム)で実施しており、本企画ではショーケースとして情報共有いたします。

【イブニングセッション：交流型】18:00-20:00

(1)「実務家教員ってなんだろう？」

会場：5号館4階5405教室

主催者：古賀暁彦(産業能率大学情報マネジメント学部)/筒井洋一(京都工芸繊維大学工芸科学部)

「実務家教員」が大学内でも一定の位置を占めようとしています。また文部科学省がその活用を促していることから、昨今大学業界で様々な議論を呼んでいます。しかし、その言葉の定義が曖昧なため、議論が噛み合わないことが課題となっています。そこで本セッションでは、参加者の抱く実務家教員像を手がかりにその多様性を認識し、

「実務家教員タキソミー」を検討・共有化します。既に、今年6月に開催された大学教育学会において同一テーマのセッションを実施したので、CIECの対話との相違等も共有できればと考えています。また、ICT教育の学会らしく、Web会議ツールZoomを使って、オンライン参加者を交えた対話をおこないます。オンライン参加の方は、Zoomアプリダウンロード後に、セッション開始時間前に、<https://zoom.us/j/514369203> にお入り下さい。ゆるりと、一緒に話し合しましょう。

(2)「外国語学習に役立つWebリソース・アプリを共有する」

会場:5号館4階5406教室

主催者:清原文代(大阪府立大学高等教育推進機構)

現在ネット上には様々な外国語学習に役立つ無料または安価なリソースがある。また、スマートフォンの無料または安価アプリの中にも外国語学習に役立つもの、或いは教員の授業準備や授業進行を補助できるものがある。本セッションでは、各教員が知っている上記のようなリソースや、それを使用する際のちょっとしたアイデア等を相互に共有することを目的とする。具体的には参加者に各自スマートフォンを持ってきていただき、Google フォームを使用してその場でツールの名称やURL、簡単な説明などを記入してもらい、それらを随時参照しながら、1人あたり2~3分程度のライトニングトークの形で紹介、及び質疑応答を行う予定である。また、そういったアプリやWebページは特に知らないという場合も「授業でこういうことがしたいのだが、何か良いアプリやWebページはありませんか?」という質問も歓迎する。

(3)「大学生協PC講座の課題を考える」

会場:5号館2階523教室

主催者:情報生活サポート研究会(CIEC九州支部)/大学生協事業連合九州地区

大学生協PC講座は全国約100大学で開講され受講生も17,000名に至っています。この講座は、「先輩が自分たちの大学でのICT生活を新入生へ伝える」をコンセプトにしていることが最大の特徴であり、全国の大学で多種多様な講座形態、期間、内容の取組が成されています。このイブニングセッションでは、全国の大学生協PC講座で、どんな背景からどんな内容の講座を行っているか、事例を交流し、そこで得られた知見や課題を出し合い、どんなPC講座が大学生に必要なか議論します。PC講座に関わられている学生スタッフ、生協職員・理事の方々はもちろん、情報教育に関する知見をお持ちの研究者・教職員の皆様のご参加を歓迎します。

(4)「大学生協のDECSアプリの次世代インターフェースを皆さんの声で作ろう」

会場:5号館2階525教室

主催者:小田部荘司(九州工業大学)

共催者:森川佳則(大学生協事業連合)

大学生協の電子書籍アプリは2019年春にWindows・iOSで新しいバージョンをリリースしました。数少ない、大学の授業向けに設計した高等教育向け電子書籍ビューアアプリです。これまでも新バージョンのリリース時には多くの声のもとに「より教えやすい、より学びやすい」アプリを目指してきました。来春に向けて皆さんとどのようなインターフェースだとより良いのか、さらに将来的にどのような機能があれば「より教えやすい、より学びやすい」ものになるのか議論したいと考えています。いただいた意見は次期開発で検討しますので、ぜひご参加ください。DECSアプリを使用したことがある人が主になりますが、「こういうものなら自分も使ってみよう」と考えておられる方の参加も歓迎いたします

(5)「情報活用能力の向上のための学生への人的支援のありかたー学生ICTヘルプデスクの活動を通してー」

会場:5号館2階524教室

主催者:尾崎拓郎(大阪教育大学)

共催者:森本尚之(三重大学)満田清恵(中京大学)

近年、学生の情報活用能力の向上や大学の情報基盤システムの高度化を目指した大学の取り組みのひとつとして、情報端末(ノートパソコン)の学生への必携を課す大学が増加している。

情報端末必携事業を大学へ導入するにあたり、単純な情報基盤システムの高度化を目指すだけでなく、学生への端末管理能力の向上も視野に入れたものとなっている。それらを達成するためには、情報端末必携事業へのICTヘルプデスクが不可欠となるが、その支援のあり方については大学ごとに様々な工夫がなされているところである。

本セッションにおいては、情報端末の利用促進を、学内構成員に促進するための ICT ヘルプデスクサービスについて、大学教職員、学生支援員、大学生協といった、それぞれの違った立場から、各々の観点や取り組みについて述べ、今後の支援サービスのあり方についてフロアを交えて議論を行う。

■■ 8月7日(水) ■■

【教育・IT フェア】 時間:10:30-17:00

会場:Agora West Union L

IT 技術の進歩により、私たちの生活は大きな変化を遂げています。毎年多くの教育関連企業の方にご出展をいただいております。各分野の「最新」「最先端」の技術の情報が入手でき、実際に機器やソフトを試すことができます。会場では抽選会、無料飲料引き換え(10:30-16:00)を実施しています。(数に限りがありますので、無くなり次第終了となります。抽選券・無料飲料引き換え券は名札ケースの中に入っております)

【分科会】

口頭発表

8月7日(水)9:00-11:55 15:30-17:25 / 8月8日(木)9:00-11:25

ポスター発表

8月7日(水)14:00-15:00(発表者立ち会い時間)

【レセプション】 時間:18:00-19:45

会場:iCommons Hirao Dining Hall South

参加者のみなさまを歓迎する立食パーティです。和やかな交流、懇談の場です。お気軽にご参加ください。お申し込みをいただいた方は名札ケースにチケットが入っています。数に限りがありますが、当日の参加も受け付けます。受付までお越しください(参加費:5,000円)

■■ 8月8日(木) ■■

【セミナー1】 時間:12:00-13:30

会場:1号館3階131教室

「CIEC 会誌『コンピュータ&エデュケーション』に採択されるために—新しい投稿カテゴリーが期待するもの—」

会誌では投稿論文の種別を「研究論文」に加え「実践論文」「研究ノート」「実践報告」を新たに設けました。これらがどんなものを求めているのか、採択の成否を分けるもの、質を高める統計手法などについて検討します。

パネリスト

横川博一 神戸大学

武沢 護 早稲田大学大学院・高等学院

村上正行 大阪大学

寺尾 敦 青山学院大学

【セミナー2】 時間:12:00-13:30/13:45-15:15

会場:1号館4階141教室

「電子コンテンツを活用してさらに大学生の学びを有意義にするには—『リーディングスキル講座』模擬講座と実践事例から—」

セミナー2では、前半(1コマ目)に電子コンテンツを活用し大学生の学びの向上を目指す実践例として、新潟大生協がこの春に実施した『リーディングスキル講座』の模擬講座を行います。後半(2コマ目)では、模擬講座体験と午前中までの分科会での活用・実践報告等を踏まえ、より深く電子コンテンツを使った学習の狙いと効果について、

会場の皆さんとパネラー(分科会報告者等)とでディスカッションを行い、検証していきます。(2 コマ目からの参加も可能です。)

『リーディングスキル講座』講師 神谷正孝 株式会社イー Crest
パネリスト 宮坂悠平 新潟大学生協同組合

【セミナー3】 時間:12:00-13:30
「2020 年大学入試制度改革に向けた教育とは」

会場:1 号館 3 階 133 教室

2020 年大学入試制度改革を切り口に、「入試で把握すべき学力」とその評価方法が変わっていく中で、小中高ではどのような教育が必要となっていくのか。またそれを踏まえ、受け入れた大学側にも教育の力が求められていくことになる。新テスト方式についても理解を深めながら、新たな「教育」、学習者像、入学者像、および大学生協の役割などについて考えていきます。

パネリスト 内村 浩 元高大接続改革 WG 委員
司会 興治文子 東京理科大学

【セミナー4】 時間:13:45-15:15
「学びの新たな空間ーラーニングコモンズの設計と運営ー」

会場:1 号館 3 階 132 教室

Web 学習環境が進むなか、学生が集まりそして議論を進めるような学習を可能にする「場」としての図書館やラーニングコモンズの役割の重要性が高まっている。このセミナーではその在り方、情報環境のサポート運営などについて課題を中心に議論し、新しい学びを実現するための教育環境について展望する。

パネリスト 尾崎拓郎 大阪教育大学
庭井史絵 青山学院大学
横濱友一 聖徳学園中学高等学校
コーディネータ 武沢 護 早稲田大学大学院/高等学院